

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 2 月 10 日

上場会社名 **沢井製薬株式会社**

（コード番号：4555 東証第一部）

（URL <http://www.sawai.co.jp/>）

代表者 代表取締役社長 澤井 弘行

問合せ先責任者 常務取締役管理本部長

兼 経営効率部長 佐藤 博之

（TEL：（06）6928－7071）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 財務諸表等の作成に際して準拠又は参考にした基準：（中間連結財務諸表作成基準）

② 会計処理の方法の最近連結会計年度における方法との相違の有無：有
（内容）

当四半期におけるたな卸資産のたな卸高は、貯蔵品を除き実地たな卸を実施せず、当四半期末の帳簿たな卸によって算定しております。

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況：無

④ 公認会計士及び監査法人の関与の状況：無

（注）当第 3 四半期は四半期業績開示の初年度でありますので、前第 3 四半期については記載しておりません。

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期（四半期） 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
平成 16 年 3 月期第 3 四半期	17,689 (—)	3,632 (—)	3,479 (—)	1,926 (—)
平成 15 年 3 月期第 3 四半期	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
（参考）平成 15 年 3 月期	21,166	3,032	2,817	1,600)

	1 株当たり 当期（四半期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 当期（四半期）純利益
	円 銭	円 銭
平成 16 年 3 月期第 3 四半期	159 13	158 69
平成 15 年 3 月期第 3 四半期	— —	— —
（参考）平成 15 年 3 月期	140 81	140 18

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前第 3 四半期に対する増減率であります。当第 3 四半期は四半期業績開示の初年度でありますので記載しておりません。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第 3 四半期におけるわが国経済は、輸出と民間設備投資の増加を背景とした企業業績の改善のもと景気は回復傾向となってきましたが、銀行の不良債権問題や行財政改革等の課題をかかえて、本格回復には至らない状況にあります。

医療用医薬品業界におきましても、医療保険財政の改善のための施策が引き続きとられて、平成 16 年 4 月には薬価改正が予定されており、また、新規後発品の薬価算定係数が先発品の 0.7 掛けに引き下げられることとなりました。

このような環境のなか、当社グループは、国の医療費の削減と患者さんの自己負担の節減に寄与するジェネリック医薬品の使用促進を新聞・専門誌等を通じて広く訴えとともに、当社グループ製品の優れた品質・情報・安定供給をピー・アールしつつ、積極的な営業を展開して参りました。国公立病院その他の大手病院の各種ニーズに応えるため、学術・営業部門の陣容の拡充等も図ってきました。また、平成 15 年 11 月 11 日付取締役会決議により、公募ならびに第三者割当による新株式発行 1,500 千株、手取金 4,815 百万円を実行しました。得た資金により、本社・研究部門の集約による経営意思決定のスピードアップと研究開発力の一層の拡充強化等を進めていく所存であります。

当第 3 四半期の業績につきましては、ジェネリック使用促進の追い風のもと、販路拡大と製造原価低減等が寄与して、売上高 17,689 百万円、営業利益 3,632 百万円、経常利益 3,479 百万円、純利益 1,926 百万円と順調な成果をあげることができました。

なお、当第 3 四半期は四半期業績開示の初年度でありますので、前年同期の比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成16年3月期第3四半期	39,571	25,421	64.2	1,865 90
平成15年3月期第3四半期	—	—	—	— —
(参考) 平成15年3月期	33,218	18,702	56.3	1,568 90

(注) 当第3四半期は四半期業績開示の初年度でありますので、前第3四半期については記載しておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末(四半期)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成16年3月期第3四半期	75	△2,390	3,482	4,066
平成15年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 平成15年3月期	1,412	△2,271	1,355	2,899

(注) 当第3四半期は四半期業績開示の初年度でありますので、前第3四半期については記載しておりません。

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

① 財政状態の変動状況

総資産は前連結会計年度末対比 6,352 百万円増加しました。内訳は流動資産 4,294 百万円増加、固定資産 2,058 百万円増加であります。

流動資産増加の主な要因は売掛金及び受取手形の増加 2,456 百万円、たな卸資産の増加 1,005 百万円、現金及び預金の増加 737 百万円等であります。固定資産の増加は本社・研究開発部門の集約・拡充の目的で購入した土地・建物の取得費用 1,929 百万円が主な要因であります。

負債については流動負債の増加 884 百万円、固定負債の減少 1,249 百万円の結果、365 百万円減少しました。流動負債増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加 963 百万円であり、固定負債減少の主な要因は、長期借入金の減少 1,342 百万円であります。

資本の部は 6,718 百万円増加しました。公募及び第三者割当による新株式発行ならびに当社グループ役職員向けインセンティブ・プランとして発行した新株引受権の権利行使に伴う株式の発行により資本金及び資本準備金合計 5,203 百万円増加したこと、順調な利益計上ができたこと等が主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

- ・ 営業活動により増加した資金は 75 百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が 3,509 百万円、減価償却費が 935 百万円ありましたが、売上債権の増加 2,456 百万円、法人税等の支払額が 1,633 百万円あったこと等によるものであります。
- ・ 投資活動に使用した資金は、前記した不動産購入を主な要因とする有形固定資産の取得による支出 2,785 百万円等により 2,390 百万円となりました。
- ・ 財務活動により増加した資金は 3,482 百万円となりました。前記した株式の発行による収入 5,178 百万円、長短借入金減少 1,217 百万円等が主な要因であります。
- ・ 以上の結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前連結会計年度末に比べ 1,167 百万円増加し、4,066 百万円となりました。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
平成16年3月期第3四半期	17,319 (—)	3,095 (—)	3,035 (—)	1,674 (—)

	1株当たり 当期(四半期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期(四半期)純利益
	円 銭	円 銭
平成16年3月期第3四半期	138 35	137 97

(3) 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	22,850	4,000	2,250	176 51

〔業績予想に関する定性的情報等〕

第 4 四半期の業績につきましては、引き続き積極的な営業活動を展開して参りますが、平成 16 年 4 月に予定されている薬価改正を前にした売上減が見込まれるほか、季節商品の売上見通しも不透明である等の状況にあります。

当期の業績予想につきましては、上記の不確定要因はありますが、第 3 四半期までの業績が当初予想を上回っている実績等を踏まえ、平成 15 年 11 月 11 日に発表しました連結業績予想（及び個別業績予想）を、売上高を 350 百万円（個別 300 百万円）、経常利益を 350 百万円（個別 360 百万円）、当期純利益を 220 百万円（個別 230 百万円）それぞれ増額修正いたしました。

なお、1 株当たり予想当期純利益につきましては、新株引受権の行使による増加分の予想が困難なため、平成 15 年 12 月以降の新株引受権の行使がないものとして期末時点で算出した期中平均株式数を使用しております。

(参考 2) 平成 16 年 3 月期の個別業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
通期	22,450	3,520	2,000	15 00	15 00	30 00

〔業績予想の利用に関する注意事項〕

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、事業環境の変化等により、上記数値と異なる可能性があります。

以 上

1.(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	期 別		前第3四半期末 (平成14年12月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成15年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
I 流動資産						
1. 現金及び預金	4,066,948		—		3,329,699	
2. 受取手形及び売掛金	10,969,371		—		8,512,724	
3. たな卸資産	7,300,001		—		6,294,692	
4. 繰延税金資産	264,100		—		337,195	
5. その他	297,943		—		111,443	
貸倒引当金	△70,644		—		△52,339	
流動資産合計	22,827,721	57.7	—	—	18,533,415	55.8
II 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	6,310,149		—		6,433,547	
(2) 機械装置及び運搬具	2,864,108		—		3,133,113	
(3) 土地	3,420,098		—		3,420,098	
(4) その他	2,934,441		—		557,035	
有形固定資産合計	15,528,797	39.2	—	—	13,543,793	40.8
2. 無形固定資産	87,682	0.2	—	—	52,640	0.1
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	567,285		—		398,901	
(2) 繰延税金資産	308,729		—		402,516	
(3) その他	272,938		—		323,556	
貸倒引当金	△21,882		—		△36,460	
投資その他の資産合計	1,127,071	2.9	—	—	1,088,514	3.3
固定資産合計	16,743,551	42.3	—	—	14,684,948	44.2
資産合計	39,571,273	100.0	—	—	33,218,364	100.0

(注) ① 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

② 当第3四半期は、四半期業績開示の初年度であるため、前第3四半期については記載しておりません。

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成15年12月31日)		前第3四半期末 (平成14年12月31日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成15年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%		%
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	4,083,723		—		3,120,246	
2. 短期借入金	4,456,684		—		4,332,159	
3. 未払法人税等	889,880		—		1,036,232	
4. 賞与引当金	179,272		—		403,548	
5. 返品調整引当金	35,626		—		29,478	
6. その他	1,402,052		—		1,241,302	
流動負債合計	11,047,240	27.9	—	—	10,162,968	30.6
II 固定負債						
1. 長期借入金	2,069,088		—		3,411,100	
2. 退職給付引当金	405,594		—		386,731	
3. 役員退職慰労引当金	331,329		—		317,578	
4. その他	296,971		—		237,382	
固定負債合計	3,102,982	7.9	—	—	4,352,792	13.1
負債合計	14,150,223	35.8	—	—	14,515,760	43.7
(少数株主持分)						
少数株主持分	—		—		—	
(資本の部)						
I 資本金	7,000,940	17.7	—	—	4,411,340	13.3
II 資本剰余金	7,322,082	18.5	—	—	4,708,379	14.2
III 利益剰余金	11,013,565	27.8	—	—	9,601,153	28.9
IV その他有価証券評価差額金	84,462	0.2	—	—	△18,269	△0.1
資本合計	25,421,050	64.2	—	—	18,702,603	56.3
負債・少数株主持分 及び資本合計	39,571,273	100.0	—	—	33,218,364	100.0

(注) ① 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

② 当第3四半期は、四半期業績開示の初年度であるため、前第3四半期については記載しておりません。

1.(2) 四半期連結損益計算書

科 目	期 別	当第3四半期 (自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日)		前第3四半期 (自 平成14年4月1日 至 平成14年12月31日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)	
		金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
			%		%		%
I 売上高		17,689,098	100.0	—	—	21,166,138	100.0
II 売上原価		8,695,847	49.2	—	—	10,996,780	52.0
売上総利益		8,993,251	50.8	—	—	10,169,357	48.0
III 販売費及び一般管理費		5,360,680	30.3	—	—	7,137,143	33.7
営業利益		3,632,570	20.5	—	—	3,032,213	14.3
IV 営業外収益		37,652	0.2	—	—	45,079	0.2
V 営業外費用		191,091	1.1	—	—	260,068	1.2
経常利益		3,479,131	19.6	—	—	2,817,224	13.3
VI 特別利益		30,000	0.2	—	—	45,626	0.2
損害賠償金		—		—		15,626	
販売権付与収益		30,000		—		30,000	
VII 特別損失		—	—	—	—	17,057	0.1
投資有価証券評価損		—		—		17,057	
税金等調整前当期 (四半期)純利益		3,509,131	19.8	—	—	2,845,792	13.4
法人税、住民税及び事業税		1,486,703	8.4	—	—	1,351,214	6.4
法人税等調整額		95,874	0.5	—	—	△105,614	△0.5
当期(四半期)純利益		1,926,553	10.9	—	—	1,600,192	7.5

(注) ① 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

② 当第3四半期は四半期業績開示の初年度であるため、前第3四半期については記載しておりません。

1. (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	当第3四半期 (自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日)	前第3四半期 (自 平成14年4月1日 至 平成14年12月31日)	前連結会計年度の要約 連結キャッシュ・フロー計算書 (自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期(四半期)純利益		3,509,131	—	2,845,792
減価償却費		935,226	—	1,221,542
受取利息及び受取配当金		△7,078	—	△7,261
支払利息		74,566	—	113,423
売上債権の増加額		△2,456,646	—	△1,655,550
たな卸資産の増加額		△1,005,309	—	△759,125
仕入債務の増加額		877,976	—	586,698
その他		△159,955	—	489,103
小計		1,767,910	—	2,834,624
利息及び配当金の受取額		7,078	—	7,262
利息の支払額		△66,572	—	△127,237
法人税等の支払額		△1,633,056	—	△1,302,472
営業活動によるキャッシュ・フロー		75,360	—	1,412,176
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の解約による収入		430,000	—	—
投資有価証券の取得による支出		△94,855	—	△81,855
投資有価証券の売却による収入		106,215	—	64,154
有形固定資産の取得による支出		△2,785,786	—	△2,243,450
その他		△45,855	—	△10,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,390,282	—	△2,271,590
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加額 (又は純減少額(△))		△200,000	—	300,000
長期借入れによる収入		430,000	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出		△1,447,487	—	△1,646,080
株式の発行による収入		5,178,801	—	2,021,580
配当金の支払額		△479,142	—	△318,755
その他		—	—	△847
財務活動によるキャッシュ・フロー		3,482,171	—	1,355,896
IV 現金及び現金同等物にかかる換算差額		—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額		1,167,249	—	496,482
VI 現金及び現金同等物の期首残高		2,899,699	—	2,403,216
VII 現金及び現金同等物の期末(四半期)残高		4,066,948	—	2,899,699

(注) ① 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

② 当第3四半期は、四半期業績開示の初年度であるため、前第3四半期については記載しておりません。

2. セグメント情報

当第3四半期（自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日）

(1) 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社の事業区分は、製品の種類、性質、製造方法及び市場等の類似性を考慮した結果、医療用医薬品の製造及び販売を中心とする製薬事業に属しているため、事業の種類別セグメント情報の記載をしておりません。

(2) 所在地セグメント情報

在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

(3) 海外売上高

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

3. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

期別 薬効名称	当第3四半期 (自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日)	前第3四半期 (自 平成14年4月1日 至 平成14年12月31日)	比較増減	
	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	増減率
中枢神経系用薬	1,097,771	—	—	%
循環器官用薬	7,098,885	—	—	—
消化器官用薬	2,750,936	—	—	—
ビタミン剤	884,643	—	—	—
血液・体液用薬	893,454	—	—	—
その他の代謝性医薬品	1,591,506	—	—	—
抗生物質製剤	1,563,154	—	—	—
化学療法剤	1,112,695	—	—	—
その他	2,685,061	—	—	—
合計	19,678,108	—	—	—

(注) ① 上記金額は、売価換算額で表示しております。

② 上記金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。

③ 当第3四半期は、四半期業績開示の初年度であるため、前第3四半期については記載しておりません。

(2) 受注実績

当社グループは、受注生産を行っておりません。

(3) 販売実績

期別 薬効名称	当第3四半期 (自 平成15年4月1日 至 平成15年12月31日)	前第3四半期 (自 平成14年4月1日 至 平成14年12月31日)	比較増減	
	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	増減率
中枢神経系用薬	1,337,499	—	—	%
循環器官用薬	4,584,876	—	—	—
消化器官用薬	2,648,179	—	—	—
ビタミン剤	901,965	—	—	—
血液・体液用薬	997,996	—	—	—
その他の代謝性医薬品	1,844,146	—	—	—
抗生物質製剤	1,619,406	—	—	—
化学療法剤	896,352	—	—	—
その他	2,858,676	—	—	—
合計	17,689,098	—	—	—
（うち、輸出実績）	(108,415)	(一)	(一)	(一)

(注) ① 上記金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。

② 当第3四半期は、四半期業績開示の初年度であるため、前第3四半期については記載しておりません。